

ちゅうりっぷぐみだより

2025年 3月 第6号



ちゅうりっぷぐみの生活も、残り1ヶ月となってしまいました。進級した頃を振り返ってみると、まだ表情に幼さがあり、言葉も少なく、何事も保育士と一緒に歩いていく事がほとんどでした。少しずつ身の回りの事など自分でやろうとする意欲が芽生え、時には上手く出来なくて涙を見せたり、怒ったりしながらも頑張り、今では自分で出来る事も増えて、自信満々の子ども達です。また、1人で遊ぶ事も多かったのが、保育士と遊ぶようになり、友達と一緒に遊ぶようになり、子ども達同士で遊びを考えていけるようになりました。想像力、思考力、表現力など保育士の予想を超えてくる事もあり、驚かされました。子ども達と一緒に過ごす中で、私達保育士も沢山笑わせてもらったり、元気を貰ったりしながら近くで成長を見守る事が出来、毎日楽しく過ごす事が出来ました。1年間ありがとうございました。

楽しかった思い出

子ども達と一緒に1年間を振り返り、楽しかった事を聞いてみると、「砂場」「ブロック」とすぐに答えが返ってきました。その後、写真を見ながら振り返り、もう一度聞いてみると「消防車」「クリスマス会」「泡遊び」「野菜の収穫」と教えてくれました。今年度も友達や保育士と一緒に、行事や季節ならではの様々な遊びを経験する事ができたと思います。これからも色々な事に挑戦し、頑張っていく姿を応援していきたいです。



野菜収穫



泡遊び



消防署見学



放水体験

ちゅうりっぷ日記



どんより曇り空のある日の事。戸外に出ると「電気付いてるよ」と1人の子に言われ、どこか電気を消し忘れてしまったのかと思い保育室を見たのですが、電気は消えていました。どこだろうと視線をたどると空を見上げていました。空一面に広がる厚い雲の中からうっすらと太陽が見えているのが電気に見えていたようです。子ども達のつぶやきには、いつもほっこりします。



子ども達がお気に入りの絵本のひとつ「3匹のやぎのがらがらどん」。保育士が読むより先に子ども達が話を覚えていて、大きな声で物語を進めています。遊びの中に絵本の世界を取り入れて遊ぶ姿も見られるようになり、ブロックを長く繋げて、がらがらどんが渡る橋を作つて友達同士で楽しんでいました。絵本の最後に「ちょきん ぱちん すとん」とあるのですが、

「ちょきん ぱちん ちょきん」

「ちょきん ぱちん ぱかん」

「ちょきん ぱちん ぼそ」など



微妙に違つていて面白いです。

ある日、午睡前にパジャマに着替えてからブロック遊びを楽しんでいると、1人の男の子がブロックで銃を作り窓の隙間から腹這いになって外を覗いていました。すると隣にもう1人横になり、保育士の様子を伺いながら少しづつ部屋から出て行きます。そんな姿が可愛くて続きを見ていると更に仲間が増え、皆で匍匐前進しながら部屋から出ていました。外に向かって銃を構え、見えない敵と戦っているパジャマ姿のちゅうりっぷ防衛隊。毎日元気に楽しく過ごせるのは子ども達のパワーのおかけです。今後も、元気一杯のちゅうりっぷ防衛隊の活躍（成長）がますます楽しみですね。

